ム11

経済学部，法学部，経営学部，
商学部，文学部，人間科学部，
国際コミュニケーション学部，
ネットワーク情報学部

2025（令和７）年度入学試験問題

国　　語

1．**試験開始の合図があるまで，この問題冊子の中を見てはいけません。**

2．試験時間は60分です。

3．この問題の本文は全部で16ページ（問題一・二）です。

ネットワーク情報学部では，問題一のみを採点の対象とします。

問題二は，ネットワーク情報学部のみを受験する方は解答しなくても結構です。

同一日に他の学部を受験する方はすべてを解答してください。

4．試験中に問題冊子の印刷不鮮明，ページの落丁・乱丁および解答用紙の汚れ等に気付いた場合は，手を挙げて監督者に知らせてください。

5．解答は，設問に従って，該当する解答欄にマークしてください。**なお，すべてマーク解答問題です。**解答にあたっては，必ず**黒の鉛筆**または**シャープペンシル**を使用してください。

6．**解答用紙**に記入するときには，下記の点に注意してください。

(1) 氏名・受験番号を所定欄に記入し，該当するマーク欄を正確にマークすること。
（機械処理上，非常に重要なので誤記のないよう注意してください。）

(2) 訂正する場合は，プラスチック消しゴムで完全に消してから改めて書き直すこと。

(3) 指定した解答欄以外および枠外の空白部分には何も書かないこと。

(4) 解答用紙は，折り曲げたり汚したりしないこと。

(5) 解答用紙の解答欄をマークするときは，次の（例）のようにマーク解答欄の番号をぬりつぶすこと。

（例）　③と解答する場合

マーク解答欄									
1	2	3	4	5	6	7	8	9	0
①	②	●	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⓪

7．問題冊子の余白等は適宜利用してかまいません。

8．試験終了後，問題冊子は持ち帰ってください。

ム11

問題一（現代文）

全員が解答してください。

ム11

問題一　次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

※問題文については著作権の関係により掲載できません。

ム11

※問題文については著作権の関係により掲載できません。

ム11

※問題文については著作権の関係により掲載できません。

ム11

※問題文については著作権の関係により掲載できません。

（毛内拡「「頭がいい」とはどういうことか」による。ただし設問の都合上、一部を改変した）

問一　傍線部W「時々刻々と」の類義表現を次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 1 にマークしなさい。

① 緩慢に　② 瞬間的に　③ 漸次　④ 延々　⑤ 一斉に

問二　傍線部X「制御」の「御」と同じ読みを**含まないもの**を次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 2 にマークしなさい。

① 御者　② 御託　③ 御璽　④ 御意　⑤ 崩御

問三　傍線部Y「ソウグウ」を漢字で書き表すとき、「グウ」の字と組み合わせて二字の熟語となるものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 3 にマークしなさい。

① 土　② 然　③ 話　④ 処　⑤ 意　⑥ 発

問四　傍線部Z「と」と意味・用法が同じものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 4 にマークしなさい。

① 誰が反対しようと、決意を変えるつもりはない
② 友人に、一緒にハワイ旅行に行こうと誘われた
③ どうも嫌な予感がすると、父親が心配している
④ このボタンを押すとどうなるか、分かりますか
⑤ 天気予報では、午後から雨が降ると言っていた

問五　傍線部A「脳についての研究が進む」とあるが、その内容に合致するものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 5 にマークしなさい。

① 「脳の〈第三のフィルター〉」とは、脳で照合した入力をどのように発露するかを決める過程である
② 「内受容感覚」とは、音や光のような感覚刺激、心拍数や水分量など体の状態を知らせる信号である
③ 「脳の〈第二のフィルター〉」とは、トップダウンに作り出した入力を脳内モデルと参照する過程である
④ 「脳内モデル」とは、外部の環境や自らの身体の状態を脳自身がトップダウンに理解するための表現である
⑤ 「フィードバック」とは、外部環境や内部環境の変化が脳へのボトムアップの入力となることである
⑥ 「脳の〈第一のフィルター〉」とは、感覚フィルターからボトムアップで脳に情報を入力する過程である

問六　空欄 a b c d に入る語句の組み合わせとしてもっとも適当なものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 6 にマークしなさい。

	a	b	c	d
①	先端	中軸	知識	正体
②	末梢	中枢	記憶	本質
③	末端	中心	知識	本質
④	末梢	中枢	体験	中核
⑤	末端	中心	体験	正体
⑥	先端	中軸	記憶	中核

問七　傍線部B「恒常性の維持」とあるが、その内容として**適当でないもの**を次の①～⑤の中から一つ選び、**解答欄** 7 に**マーク**しなさい。

① 敵と思われる対象に出会うと、不快や忌避、恐怖などの情動が生じること
② 外界の光や音の変化に適応して、ストレス応答という生体反応を起こすこと
③ 突然強いストレスに直面すると、臓器や器官が同時多発的に反応すること
④ 自律神経系が心拍、消化、筋肉の緊張、瞳孔の拡がりなどに適応すること
⑤ 内受容感覚に基づいて、身体の感覚を把握し、何が必要かを理解すること

問八　傍線部C「意識に上らずに処理される」とあるが、その具体例としてもっとも適当なものを次の①～⑥の中から一つ選び、**解答欄** 8 に**マーク**しなさい。

① 突然スズメバチが出てきた際、心臓がドキドキし、消化が止まり、毛が逆立つ反応をすること
② 賑やかなパーティー会場で、自分の名前が呼ばれても注意が向いていなければ聞き取れないこと
③ 目の前にある箱の中身を知るために、外見を眺めたり、触ったり、振ったりして確認すること
④ 何十人といるオーケストラの中で、さまざまな楽器の音が指揮者には混じりあって聞こえること
⑤ コーヒーカップを取る際、距離を把握し、筋肉を動かし、姿勢を保つために身体を調節すること
⑥ 飛行機に搭乗した際、当初の大きなノイズ音に異音が混じったとしても気にならなくなること

ム11

問九　空欄 e を補う語句としてもっとも適当なものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 9 にマークしなさい。

① ブラックボックステスト
② 内受容感覚
③ 〈第一のフィルター〉
④ 〈第二のフィルター〉
⑤ 〈第三のフィルター〉
⑥ ストレス応答

ム11

問一〇　後のア～カのうち、本文の内容に合致するものの組み合わせを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 10 にマークしなさい。

① アイオ　② アカ　③ イウ　④ イエカ　⑤ ウエオ　⑥ エオ

ア　脳はかつて、入力に対して計算を施し応答や行動を出力する単純な演算装置として捉えられてきた。しかし現在では、多方向から入力された情報群を脳内モデルで統合して出力するという複雑な仕組みが明らかになってきている。

イ　「カクテル・パーティー効果」とは、騒がしい環境下でも注意が向くと特定の言葉が聞こえてくる現象である。これは、視床の感覚ゲート機構が情報の取捨選択を行っていることによる効果であると考えられる。

ウ　「ブラックボックステスト」とは、ある入力に対して得られる出力を検討することにより中身の分からない箱の内容を推定しようとする方法であるが、現代では不十分であることが明らかになっており、一般的には用いられない。

エ　「内受容感覚」により生成された身体情報は、ボトムアップの入力として大脳皮質に運ばれ、「知覚」として認識される。また、知覚が認識されるまでの過程に存在するいくつかの障壁を、「感覚フィルター」と呼ぶ。

オ　例えばコーヒーカップを摑もうとして失敗した場合、その場で「脳内モデル」を書き換えることにより修正を行う。また、失敗した結果は、ボトムアップの入力として再び脳内に入ってくる。この流れは「学習」と呼ばれる。

カ　感覚情報が脳内の「視床」で中継される際、どの情報を大脳皮質に送るかを取捨選択する仕組みを「感覚ゲート機構」と呼ぶ。なお、情報の大半は大脳皮質に送られることはなく、非意識的に処理されることになる。

ム11

問題二（古文）

ネットワーク情報学部では採点の対象となりません。

ネットワーク情報学部のみを受験する方は解答しなくても結構です。

ネットワーク情報学部以外の学部を受験する方、およびネットワーク情報学部と他学部を併願している方は解答してください。

ム11

問題二　次の文章を読み、後の設問に答えなさい。

今は昔、村上天皇の御代に、大江朝綱（おほえのあさつな）といふ博士ありけり。やむごとなかりける学生（がくしやう）（注1）なり。年ごろ道につきて公（おほやけ）に仕うまつりけるに、いささかに心もとなきことなくして、つひに宰相までなりて、年七十余りにして失（う）せ(a)にける。

その朝綱が家は二条と京極とになむありければ、東の川原はるかに見え渡りて、月おもしろく見えけり。しかるに朝綱失せて後、あまたの年を経て、八月十五日、夜の月いみじく明（あか）かりけるに、文章（もんじやう）を好む輩（ともがら）十余人伴ひて、月をもてあそばむがために、「いざ、故朝綱の二条の家に行かむ」と言ひて、その家に行きにけり。その家を見れば、古くあばれて人けなし。屋、ともに皆倒れ傾きて、ただかまど屋ばかり残りたるに、この人々やぶれたる縁(b)に居なみて、月を興じて詩句を詠じけるに、

沙（いさご）（注2）を踏み練（ねりぎぬ）を被（かつ）きて清秋に立つ　月は長安の百尺の楼に上れり

といふ詩は、昔、唐に白楽天といひける人、八月十五夜に月をもてあそびて作れる詩なり。それをこの人々詠じけるに、また故朝綱の文花の微妙（みめう）なりしことどもを言ひ語らひける間、丑寅（うしとら）の方より、尼一人出で来たりて、問ひていはく、「これは誰人（たれひと）の来たりて遊び給ふぞ」と。答へていはく、「月を見むために来たれるなり。また汝（なむぢ）はいかなる尼ぞ」と。尼のいはく、「故宰相殿に、仕へ人は尼一人なむ今に残りて侍る。この殿に男女の仕へ人、その数、侍りしかども、皆死(c)にはてて、おのれひとり今日明日とも知らで侍るなり」と。道を好む人々はこれを聞きても、あはれ(d)に思ひて、尼を感じて、あるいは泣く人もありけり。

しかる間、尼のいはく、「そもそも、殿ばらの『月は長安の百尺の楼に上れり』と詠じ給ひつる、いにしへ故宰相殿は『月によりて百尺の楼に上る』とこそ詠じ給ひ［X］。これは似侍らず。月は何しに楼には上るべきぞ」と、「人こそ月を見むがために楼には上れ」と言ふを、この人々聞きて、涙を流して尼を感ずること限りなし。「そもそも尼はいかなる者(e)にてありしぞ」と問へば、尼、「おのれは故宰相殿の物張（ものはり）（注3）にてなむ侍り［Y］。それが常に聞きしことなれば、殿ばらの詠じ給ふ時に、ほのかにおぼえ侍るなり」と言へば、人々夜もすがらこの尼に談じて、皆尼にかづけものしてなむ暁に帰りける。

これを思ふに、朝綱の家風いよいよ重くおぼえ、言ふかひなき女そら（注4）、かくのごとし。いはむや、朝綱の文花思ひやるべしとな

ム11

む語り伝へたるとや。

（「今昔物語集」による）

（注1）学生……学者
（注2）沙を踏み練を被きて～上れり……「踏沙被練立清秋　月上長安百尺楼」を書き下したもの
（注3）物張……下働きの女
（注4）そら……でさえも、の意

問一　傍線部A「に」と文法的に同じものは二重傍線部(a)～(e)のどれか。もっとも適当なものを次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 11 にマークしなさい。

① (a)　失せにける　　② (b)　縁に居なみて　　③ (c)　死にはてて　　④ (d)　あはれに

⑤ (e)　いかなる者にてありし

問二　傍線部B「丑寅」の意味としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 12 にマークしなさい。

① 北西　② 北東　③ 南西　④ 南東

ム11

問三　傍線部C「道を好む人々」の解釈としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 13 にマークしなさい。

① 仏の道に生きる人々
② 和歌をたしなむ人々
③ 散策を楽しむ人々
④ 漢詩文を愛する人々

問四　空欄 X と Y に入る語の組み合わせとしてもっとも適当なものを次の①～⑥の中から一つ選び、解答欄 14 にマークしなさい。

① X き ― Y し
② X しか ― Y き
③ X き ― Y しか
④ X し ― Y き
⑤ X しか ― Y し
⑥ X し ― Y しか

ム11

問五　傍線部D「おぼえ侍るなり」の説明としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 15 にマークしなさい。

① 自分と一緒に朝綱に仕えていた人々のことがしのばれたということ
② 生前の朝綱が毎日楼に登っていたことを覚えているということ
③ 朝綱が白楽天の詩をどのように詠じていたかが思い出されたということ
④ 白楽天の詩に詠まれた風景が目の前に浮かんできたということ

問六　傍線部E「かづけものして」の意味としてもっとも適当なものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 16 にマークしなさい。

① 褒美の品を与えて
② 言づけをして
③ 供え物を渡して
④ 再訪を約束して

問七　本文の内容と合致するものを次の①～④の中から一つ選び、解答欄 17 にマークしなさい。

① 朝綱は優れた学者であったが、政治家としては頼りない面もあった
② 朝綱が死んだ年の八月十五日の夜、人々は朝綱の家に集まった
③ 朝綱は身分の低い女であっても分け隔てなく漢詩について指導した
④ 朝綱の家では下女でも白楽天の詩の一節を口ずさむことができた

ム11

問八　「今昔物語集」と異なるジャンルの作品を次の①～⑤の中から一つ選び、解答欄 18 にマークしなさい。

① 宇治拾遺物語　② 無名草子　③ 十訓抄　④ 沙石集　⑤ 日本霊異記